



報道機関各位

平成30年 1月25日
室蘭開発建設部 広報官

大津波災害を想定した危機管理演習を実施します

～災害時における迅速・適切な対応の強化を図ります～

室蘭開発建設部は、津波による災害を想定した防災訓練（ロールプレイング方式[※]）を防災関係機関に参加いただき下記のとおり実施します。

本演習は、大地震後に太平洋沿岸西部・中部に大津波が発生し、室蘭市内が津波浸水予測規模の津波により3地区に分断され、非常参集先で災害活動を行うことを想定した演習シナリオで実施します。また、関係機関と連携した災害活動に資するため防災関係機関に参加いただきます。

記

- 日時 平成30年1月31日（水）9：30～15：30
- 場所 室蘭開発建設部 1階大会議室（室蘭市入江町1-14）
- 概要 別紙のとおり
- その他 （1）取材による撮影は、9：30～15：30まで、1階大会議室（プレーヤー）及び1階中会議室（コントローラー）で行えます。
（2）災害の発生又は発生のおそれがある場合は、訓練を中止（又は延期）します。

※ロールプレイング方式

コントローラー（演習指揮者）、プレーヤー（演習者）に分かれ、コントローラーの立てたシナリオに沿って演習状況等を付与し、プレーヤーが①状況判断、②対応の検討、③意思決定（判断）、④対応行動に関する訓練を机上で行う方式。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 室蘭開発建設部

防災対策官 齊藤 好生 電話 0143-25-7052（内線 447）

防災対策専門官 上杉 智 電話 0143-25-7052（内線 445）

室蘭開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/mr/>



訓練概要

1 日時

平成30年1月31日（水）9：30～15：30

2 場所

室蘭開発建設部 1階大会議室（室蘭市入江町1-14）

3 概要

大津波が発生すると、室蘭開発建設部は、13の本部・事務所等庁舎のうち、8庁舎が浸水（浸水エリア内）するため本部・事務所等の機能は著しく低下し、当部以外の防災関係機関や協定会社においても同様のダメージを被ることが想定されます。

本演習は、当部職員が避難行動（分散参集又は高台に移動）を行った後の本部・事務所等、関連する防災関係機関及び協定会社の機能が低下した状況を想定し、人命救助に資する道路啓開等の災害対応についてロールプレイング方式で行い、問題点・課題を抽出し、適切な初動体制の確立と災害対応の充実・強化に資することを目的に実施します。

〈想定〉

震源：青森県東方沖

最大震度：震度6強（室蘭市、登別市、伊達市、壮瞥町）9:00発生

津波：大津波警報（太平洋沿岸西部・中部）9:04発表

被害概要：大津波により室蘭市から苫小牧市への国道等は瓦礫が堆積

：室蘭市は大津波による浸水で3地区に分断

：地震によるその他被害（土砂崩落等）

4 主な訓練項目

（1）非常参集先での室蘭開発建設部災害対策本部各班の災害対応

（2）救助のための道路啓開等の災害活動

5 参加機関

室蘭地方气象台、室蘭海上保安部、胆振総合振興局（地域創生部・室蘭建設管理部）、日高振興局（地域創生部）、室蘭市（防災対策課）、室蘭市消防本部、室蘭警察署、陸上自衛隊 第7師団、室蘭建設業協会、河川防災エキスパート、道路防災エキスパート